



川越志政会 **倉嶋真史** 18  
 地域医療について



**問**看護師等の確保について、実態に即した目標が必要と考えるが、積み上げ型の目標に取り組むことはできないのか。

**答**保健医療部長 埼玉県が県内に就業している看護師等の人数を数値目標として設定しており、県が進める方向性との整合を図りながら、施策を推進する必要がある。県全体の目標値を踏まえ、試算することはできるが、本市の目標値を算出することは研究が必要と考えている。

より実態に即した目標値を持つことは、施策を進める上で重要と考えており、本市の目標値については検討していきたいと考えている。

【問】地域医療



川越志政会 **桑真美子** 19  
 持続可能な観光を目指して



**問**観光客増加対応は急務だ。地域経済の活性化と市民生活の維持・向上が図れる住んで良し、訪れて良し、営んで良しの持続可能な観光を目指すべきだが本市の考えは。

**答**産業観光部長 観光客、地域住民、事業者が共存できるよう、それぞれの立場を理解し、思いやり、配慮のある行動が必要である。市の役割として、それぞれの主張を理解し、課題に対し必要な情報提供などを行いながら、共に解決策を協議・検討することが求められる。住民は自分が住むまちに誇りと愛着を持ち、事業者は気持ちよく事業を営み、観光客は何度も訪れたいくなる、持続可能な観光地を目指すべきと考える。

【問】観光政策の諸課題

【問】景観まちづくりの推進



公明党 **小ノ澤哲也** 20  
 ヘルメットの公費助成を！



**問**命を守るため、1番の課題である予算を圧縮するため、対象者の世代を絞り公費助成を行い、自転車用ヘルメット購入に導く必要があると思うが、市の考えは？

**答**市民部長 自転車を利用する全ての年代の人にヘルメット着用の重要性や必要性を伝えていくことが重要であり、特定の対象者に対し、自転車用ヘルメットの購入に対する公費助成を行うことは難しいと考えている。

今後は各年代に合わせた効果的な啓発活動を実施していく。



【問】自転車用ヘルメット助成 【問】ワクチン接種の諸課題



川越志政会 **樋口直喜** 21  
 喫煙マナーの向上と啓発



**問**マスクを外す人が増え、路上喫煙も目立ってきた。指定喫煙場所の設置と併せて禁止地区を追加することで、路上喫煙の防止に関する条例の再周知を図れないか。

**答**環境部長 健康増進法の改正や加熱式たばこの普及等により、喫煙行動に変化が生じている実態があり、禁止地区の追加および条例の再周知の必要性が生じていると認識している。禁止地区の追加には、啓発を行うための人的資源や指定喫煙場所をどこに設置するか等の課題があるので、実態と課題について、調査・研究していく。

【問】路上喫煙防止条例

【問】予算編成と政策決定



無所属 **伊藤正子** 22  
 市民の声を市政に生かして



**問**こども家庭庁が設立された。こども基本法第11条にある、こども施策に対するこども等の意見の反映のための聴取方法について、デジタル活用を含めどう考えるか。

**答**こども未来部長 市では、こども計画の策定に向け、今年度は子どもや保護者等を対象とした調査を行うこととしており、子どもに対して直接アンケートを実施し、子どもの意見を施策に反映したいと考えている。

この他、電子媒体を活用した意見募集や、対面で子どもの意見を聴く機会を設けることなどについても検討していきたいと考えている。

【問】市民の声をまちづくりに 【問】防災のデジタル化と課題

【問】選挙広報と投票率向上



初雁自由政令会 **小野澤康弘** 23  
 在宅医療ニーズと取り組み



**問**慢性期の医療ニーズやみとりを含む医療提供体制の受け皿としての在宅医療の理解を市民に深めてもらうため、より分かりやすい情報提供が必要と考えるが市の考えは。

**答**保健医療部長 在宅医療は、住み慣れた地域で自分らしい生活を続けることができるように、患者の日常生活を支える医療であり、自宅での療養を希望する患者や家族に分かりやすく周知を図ることが必要であると考えている。

医療関係者の意見や、在宅医療・介護連携に係る取り組みとも連携を図りながら、市民に必要な情報をより分かりやすく提供できるよう努めていきたいと考えている。

【問】在宅医療